

教科	学年科目	集計結果の分析	後期に向けての課題
国語	1 現代の国語	他者の考えを知り自らの考えを深める機会を通じ、既習事項に関連づけ、生徒の授業内容における理解度を高めることが出来た。	毎時間の授業の中で、学習のねらいを示し、生徒が見通しを立てられるような授業展開に努めたい。
	1 言語文化	授業を通して学んだ知識が、別の場面で関連づけられ、定着していく様子がうかがえる。	生徒が目的意識を持って授業にのぞめるように課題を提示しながら、前期の復習と応用に努めたい。
	2 論理国語	他者の考えを知り、自らの考えを広げ深めることについて、多くの生徒が実感できていることがわかる。	生徒が、授業で学んだことを課題の解決につながっている実感を持てる工夫が必要である。
	2 文学国語	各質問項目の平均値が2.37～2.93と、どれも3点台へ届いておらず、「授業の在り方について」も「指導方法について」も改善の余地がある。	生徒の実感が低い状態の改善にまずは取り組みたい。
	2 古典探究	グループワークを多く設けたことで、他者の意見をもとに自分の考えを深めることができた生徒が多かったようだ。また、既習事項と関連づけて理解することもできている反面で、身につけたことを実感・活用することについては今後改善していきたい。	復習の機会をよりしっかりと設け、生徒自身ができた実感できるような授業展開に努めたい。
	3 現代文B	教科書・問題演習・時事問題・漢字・用語集を扱うとともに、意見交換する場も設定し、多様な受験に対応した内容に充実感をえた生徒が多かった。	受験で現代文を必要としない生徒に対して、知識だけではなく、文章を読むことの重要性を理解させながら、展開したい。
	3 古典B	「他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会」が設定されており、「授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連づけて理解することが出来た」と実感を持つ生徒が多かったことが読み取れ、授業内でインプットしたことを対話を通してアウトプットするサイクルが習慣化されてきたことがわかった。	既習事項の活用には慣れてきたようだが、新規の文章や文法に対する応用力・対応力がついていないように思われる。後期はより実践的な課題を多く設け、生徒の気づきと課題解決力に繋がる授業展開に努めたい。
地歴公民	1 歴史総合	他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会、自らの考えを広げ深める、知識をもとに、解決方法を考えるという点において低評価が目立つので改善の余地がある。	担当で打ち合わせしながら、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会の確保、自らの考えを広げ深める活動、知識をもとに、解決方法を考える学習方法を工夫する。
	1 公共	概ね良好だった。特にできるようになった実感や既習事項との関連付けができるようになっている生徒が多い。今後も継続できるようにしたい。	学習のねらいや振り返る機会が少ない、また他者の考えを知る、新たな考え方を知るなどの項目の評価が低いので、後期はその改善に意識して取り組んでいきたい。
	2 地理総合	概ね良好な評価が得られたのではないかと考える。特に既習事項との関連から理解が深まったと感じる生徒が多かった。	できるようになったと実感する生徒がそれほど多くないので、様々な機会を確認をし、定着させたい。
	2 日本史探究	概ね良好な評価であった。特に「学習の狙いを認識している」「自分で考える場面が多い」と感じる生徒が多かった。	考えることで、身に付いたことの実感や考えが深まったと感じられるように評価のフィードバックを積極的に増やす。
	2 世界史探究	全体的に見れば、一定の評価を得ることができたと考え。「自らの考えを広げ深める」「知識をもとに解決方法を考える」項目においては生徒により評価が分かれている部分であった。	「自らの考えを広げ深める」「知識をもとに解決方法を考える」機会を授業内外で増やし、生徒の理解度や達成感を深めることを目指す。
	3 世界史B	全体的に良好な評価を得られた。特に、毎時間の学習のねらいや振り返りをおこなうことで、授業内容の理解がすすんだ生徒が多かった。	多くの生徒が「他者の考えを知り、自らの考える機会が多い」と答えているので、後期はその機会をうまく活用して、生徒自身の言葉で考えをまとめる力を身に付けさせたい。
	3 発展日本史	全体としては良好な評価が得られた。毎時間ごとに行っている前時の振り返りにより、知識の定着が図れた。また、できるようになった実感や既習事項との関連付けができるようになっている生徒が多い。	単元の中で他者の考えを知る、新たな考え方を知る項目が3点に届いていないので、課題であると考える。様々なアプローチにより、知的欲求を満たせるような工夫をしていきたい。
	3 地理B	学習のねらいや振り返りなど、どの評価も比較的良好であった。授業の内容やねらいが理解でき、学習につながられた結果であると思われる。	普段の授業内でのビジュアル教材の提示や定期テストなどを通じて、できたという自己肯定感を高められる瞬間を増やせるように心掛けていきたい。
	3 世界史研究	ねらいを提示し、振り返ることを意識できた。生徒の理解も進んでいる。少しでも自分の考えをまとめる時間をとるために苦労したが、評価は悪くない。	引き続き、ねらいを提示し、振り返る。また、自分の考えをまとめ、既習の知識をもとに問題を解決し、できるようになったことを実感できるような授業づくりを心掛ける。
	3 日本史研究	概ね良好な評価を得ることができた。授業で得た知識をもとに自分の考えをまとめたり、それまでに学んだことと関連付けて理解することができると感じている生徒が多い。今後も既習事項の確認や関連事項を含めたワークを取り入れていきたい。	他者の考えを知る観点で3に届いていないため、その項目が課題である。最新の研究成果を踏まえた授業展開を行うことで、様々な人の考えを知る機会を設けたい。
3 地理研究	概ね良好であった。特に学習のねらいと振り返りができたり、他者の意見を取り入れ、理解を深めるといったことができ、広い視野でものごとをみることができた。	授業で得た知識をもとに、後期は前期以上に授業で取り上げた問題が自分の身の回りでも起こりえるということをしつかりと伝え、他人事にしないようにさせたい。	

数学	1	数学Ⅰ・A	他者との協働学習の中で自らの考えを深めたり、授業中で身についたことや出来るようになったことを実感する生徒が多い。一方で授業のねらいの理解や振り返りの機会が少なかった。	毎時間の授業の中で、何を学ぶか、何が出来るようになるか、学習のねらいを示しながら見通しを立てて学習に取り組めるように工夫していく。
	2	数学Ⅱ	既習事項と関連付けながら、自分の意見をまとめたり、解決方法について考えることができる生徒が多い。一方で、他者の考えを知る機会がやや少なかった。	問題解決の過程で、他者と意見を共有する時間を多く設け、自分の考えを広げる。また、単元ごとに学習を振り返る時間を設け、生徒ができるようになったことを実感できるようにする。
	2	数学B	既習事項と関連付けながら、自分の意見をまとめたり、解決方法について考えることができた。他者の考えを知ることで、自らの考えを広げ深める機会が少なかった。	授業の振り返りを行うことでできるようになったことを実感させるとともに問題解決の過程で、周囲の生徒と意見等を共有しながら解決する場面をより設ける。
	3	数学Ⅲ	概ね知識を定着させることができた。しかし、ねらい・振り返りの項目で評価が少し低くなっている。教科書の内容を早めに終わらせることに重点を置いていたため、振り返りをする機会が少なかった。	問題演習の中で、1つの視点だけでなく複数の視点で物事を捉えるなど数学的な見方を深められるような授業展開を心掛けていく。
	3	数学探究ⅠAⅡB	概ね良好であったが受験問題を解けるようにすることを中心に授業を進めたため、他者の考えを知り自らの考えを広げ深める項目で評価が少し低くなっている。	受験問題に取り組みながら、グループワークや他の生徒の意見を聞く場面を取り入れていく。
	3	発展数学ⅡB	概ね良好であるが、生徒の主体的活動がもう少し多いとよい。	生徒の主体的な活動を引き出す更なる工夫が必要である。
理科	1	物理基礎	実演や実験を望む生徒が多い。振り返る機会などを意識した授業づくりを進めている。	生徒の主体性を高めつつ、演示を増やす取り組みをしていきたい。
	1	化学基礎	中学からの既習事項を意識して指導したため、既習事項との関連性や学んだことの有用性について一定の評価が得られた。一方で他者の考えを知る機会が少ないという課題も挙げられる。	授業内で理解させるだけでなく、家庭でも自主的に演習を行うよう指導し、問題を解く力をつけさせ、できる実感を持たせる。授業内で考えたり、話し合ったりする機会をより多く取り入れる。
	2	物理基礎	実験を出来るだけ取り入れ、現象を理解しやすい授業づくりをしてきた。扱った内容を振り返る機会をより多くしてほしいと望む生徒が多い。	前回の授業を振り返る時間をより持つことや、新しい現象を扱うときも、過去の授業内容で説明することが出来るようなところは強調して授業を進める。
	2	化学基礎	現象を理解することはもちろんのこと、問題演習を通じて様々な現象を自らの力で説明できるような力を身に付けさせられるよう工夫したい。	授業内で理解させるだけでなく、家庭でも自主的に演習を行うよう指導し、問題を解く力をつけさせ、できる実感を持たせる。授業内で考えたり、話し合ったりする機会をより多く取り入れる。
	2	生物基礎	学習のねらいの提示や、振り返りを意識することができた。他者の考えを聞いて自分の考えを広めることや、解決方法を考える機会が少なかった。	知識の定着だけでなく、課題解決の機会を設け、他者と意見を共有したり自分の考えを広げられるよう工夫する。実験を通して他者と協力し、課題の解決に取り組む機会を作る。
	3	物理＋発展物理	本来なら物理基礎の内容で取り扱う実験も取り入れ、知識を整理しつつ現象を目の当たりにする活動を取り入れた。自分の考えを広げられることができた実感する生徒が多い。	現象を理解することはもちろんのこと、問題演習を通じて様々な現象を自らの力で説明できるような力を身に付けさせられるよう工夫したい。
	3	化学＋発展化学	授業への取り組みはよく、概ね授業の内容に関する理解はできている。演習問題において得た知識を活用したり、他者の考えを聞いて自分の考えを広げられたと感じる生徒が少ない。	実験をより多く行い、得た結果をもとに知識を用いて考察したり、他者と考えを深める時間を多く設ける。
3	生物＋発展生物、Ⅳ型	授業への取り組みはよく、概ね授業の内容に関する理解はできている。話し合いやまとめ、考えを広げる機会は十分にとれていない。	後期は、問題演習等を通じて復習や家庭学習を促し、まとめ、考える場面をつくりたい。	

保健 体育	1	体育	どの項目も平均的にまとまっていた。 課題の解決について、自分で考えながら取り組む生徒が多かった。	ねらいを示したり、振り返ったりする機会があるかという項目は少し低い評価だったので、その時間を積極的に取り入れていきたい。
	1	保健	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えることができたかという項目は少し低い評価だった。	知識を蓄えさせるだけでなく、自分の考えをまとめられるような時間を授業内で増やしていきたい。
	2	体育	授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができたという項目はとても評価が高かった。	慣れ親しんだ種目が多く、技能の向上を実感できたのだと考える。後期はニュースポーツもあるので、同じように丁寧な指導で技能の向上を実感させられるようにしていきたい。
	2	保健	ねらいを示したり、振り返ったりする機会があるかという項目は少し低い評価だった。	毎時間ねらいを示したり、振り返ったりする機会を積極的に取り入れていきたい。
	3	体育	授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができたという項目はとても評価が高かった。	3年生でも技能の成長を実感できることはとても大切なことだと考えるので、今後もこれまでの指導を継続し、障害を通じて運動に親しむことのできる資質を身に付けさせていきたい。
芸術	1	音楽Ⅰ	授業の中でできるようになったことを実感できた生徒が多かった。また、他者との交流から視野を広められたとの感想も多かった。	音楽活動を通じ、自分の感性や能力を広げられるよう、課題を工夫していきたい
	1	美術Ⅰ	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができたという生徒が多く、知識を技術に活かすことができているようである。	ねらいや振り返りは題材のはじめと終わりに行っているが、結果を見ると数値は高くないので十分に伝わっていないか、もしくは質問文の毎時間というところで行われていないと判断している可能性がある。
	2	音楽Ⅱ	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができたという生徒が多く、技術をより発展させる方向を目指しているようである。	授業のねらいを、音楽活動のなかでしっかり認識できるように、課題に取り組む際の意識づけを明確にし、振り返り活動を取り入れながら展開してゆきたい。
	2	美術Ⅱ	学習事項を体系的に理解できている生徒が多いようである。また、他者の考えに触れ自らの考えを深められる機会があると感じている生徒が多い。	生徒の様子を踏まえ、高度なことを求めてよい部分等を見極めながら後期の授業を展開し、自己を表現できるようにする。
	3	自由選択 (ソルフェージュ)	授業の中でより積極的な課題を自覚し、技術の獲得に積極的に取り組みができているようである。	授業における取組の中で、より将来に生かせる課題設定を工夫し、積極的に取り組ませたい
	3	自由選択(素描)	概ねよい評価であり、自律的な学習態度を身に付けつつある生徒が多い。	引き続き意欲的に取り組めるよう課題の工夫や実施の工夫をしていく。
英語	1	英語コミⅠ	他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会を持つことが実感できた生徒が多かった。一方で、授業のねらいを示したり学習内容の振り返りの機会が不足していると考えられる。	学習のねらいを示したり、学習内容の振り返りの機会を増やしたりすることで、学習内容の定着を図りたい。
	1	論理表現Ⅰ	既習事項と関連付けて理解することについては一定の成果を感じる。「英語コミュニケーションⅠ」と比較して、他者の考えを知ったり、自分の考えを広めたりする機会が不足していると考えられる。	既習事項を基に、他者と話し合うことや教え合う活動を増やしていく。
	2	英語コミⅡ	授業中の活動を通じて他者の考えを知り、自らの考えを広げ深めることができた生徒が多かった。さらに、既習事項と関連付けて知識の体系化を図ることができている生徒が多い。	引き続き狙いを示し、知識を増やし、やり取りを通じて考えを深める機会を設け、生徒ができたという実感を感じられるようにしていきたい。
	2	論理表現Ⅱ	「授業で学んだこととそれまでの既習事項を関連付けて理解」する項目が3点台であり、他の項目は3点を下回った。難しい内容も含まれていたため理解する所までで留まってしまい、より深く考えをまとめたり広げたりするところまで余裕がなかったのではないかな。	学んだ内容を用いて、実際に使ってみる機会を様々に工夫し、活動を増やし、より「できるようになった」と実感できることを目指しつつ、生徒が「深い学び」を得られるよう、授業を展開していくことが課題である。
	3	コミ英Ⅲ	既習事項と関連付けて授業を理解し、他者の考えを知り自分の考えを広げ深めることを達成できた生徒は多い。 一方、授業中で身に付いたことやできるようになったことを実感できた生徒は比較的少なかった。	授業中に学習したことを生徒が実感できるように、既習事項を応用した問題や活動などを取り入れた。その中で、既習事項との関連を強調して授業を行ってきたい。
	3	英語表現Ⅱ	すべて3点以上の評価であるが、特に授業の在り方の部分の評価が高い。一方で、生徒がより深く考える時間を設け、できるようになったことを実感することができた生徒は比較的少なかった。	全体的には良好の評価だが、身に付いたことやできるようになったことを実感する点が比較的低かった。後期はアウトプットの時間を意識的に多くとり、自分の伸長をより実感できる授業にしたい。
	3	発展英語	初見の英文の内容を既習事項と関連付けて理解しているようである。一方で、生徒が知識をもとにより深く考える機会を通して、達成感を感じられるように指導方法に工夫が必要だと考える。	これまで身につけた知識をもとに、自らの考えや感想を他者に伝える機会を増やすことで、生徒の思考力と表現力を高める授業を実践していきたい。
家庭	2	家庭基礎	他項目と比べて、授業のねらいや振り返りの項目が低くなっている。また、自分の考えについてまとめる時間があまり取れていないと感じているようである。	単元(分野)ごとの到達目標を明確にし、少ない時間で学習効果が得られるような実習教材を精選する。また、振り返りを宿題などにして、じっくりと考える時間を設ける。

情報

2	情報 I	同じ内容の授業をおこなっているはずなのだが、クラスによって評価のばらつきがある。この中で「ねらい・振り返りの4点以上が少ない評価のクラスが多いことになる。	授業の初めに内容を示し、最後にまとめと振り返りができるように改善していきたい。
3	社会と情報	授業の中で学習の成果を生徒に実感させることができていると考える。一方で、学習のねらいを示したり、振り返りの機会が少ない。	授業毎にその時間の到達目標を確認し、目標と自分の状況を比較して、到達度を確認できるようにする。